

京都創生

KYOTO SOUSEI

第14号



日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。

～文化力で日本を創生し、世界に貢献するために～

文化庁の京都移転が決定！

3月22日、国の政府関係機関移転基本方針が発表され、文化庁の京都への移転が決定しました。具体的なスキームはこれから協議されますが、国会対応、外交等についても、一定の前提を置いたうえで全面的に移転される予定です。これは、東京一極集中の是正を目指す地方創生の突破口となるとともに、日本文化の一層の発展及び文化首都・京都の更なる飛躍が期待されます。



文化庁京都誘致協議会による移転決定後の記者会見

■これまでの経緯

京都では、これまでから、国に対して繰り返し文化庁移転の提案を行ってきました。今回の提案は、平成27年3月に国が政府関係機関の地方移転に係る提案を募集したことを受けて、市会、府会、経済界、宗教界、文化芸術関係者等と連携し、オール京都はもちろん、関西が一体となって要望を行ってきました。

■移転の意義

現在、地域の特色に応じた政策の展開、交流人口の増加や移住、産業の活性化によるGDPの拡大等の観点から、「文化」の果たす役割は重要度を増しています。京都は、有形・無形の文化財を数多く有するとともに、日本の歴史、伝統、文化、心が今なお暮らしに息づき、それらを土台に新たな文化や先端産業などが花開き、創造性に溢れています。ここに文化庁が来ることで、伝統産業、先端技術を文化と結び付け、従来ではできなかったような文化行政の展望が開かれます。京都では、世界遺産や文化遺産を活用したMICEの推進など、文化財を保存凍結するだけでなく、「観光」や「ものづくり」、「景観」などの関連施策と融合させ、資産として活用していく先進的な取組を積極的に推進してきました。

こうした取組をさらに進め、全国津々浦々の地場産業、伝統産業とも結びつく京都から地方創生の流れをつくり、他の地域のモデルとなるまちづくりを進めることにより、文化・経済の両面から活力ある日本の創生に貢献していきます。

■今後の取組

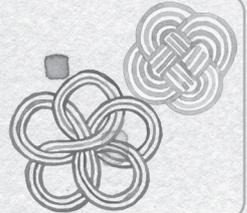
今回の決定を受けて、今後、国との間に具体的な移設土地や庁舎、職員の受入等についての協議が進められますが、京都が中心となって日本の文化力に磨きをかけ、文化の力で日本を創生し、世界に貢献する取組を一丸となって、より一層力強く推進していきます。

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。



京あるき in 東京2016

～恋する京都ウィークス～を開催



京都市、京都商工会議所、(公社)京都市観光協会、京都創生推進フォーラムでは、「京あるき in 東京2016」を開催しました。6回目となる今回は、平成28年2月13日から3月13日までの1箇月間、211の企業や団体、大学に参画いただき、東京都内各所で京都の魅力を発信する119の催しを実施しました。

青山のスパイラルホールで2月13日に開催しましたオープニングイベントは、事前申込の段階で抽選が必要となるほどの盛況ぶりでした。第一部では、門川京都市長とのトークショーにゲストとしてお迎えした芸人の友近さんに、舞妓さんからバレンタインのチョコレートならぬ“お猪口”(KYO-MONO is COOL!プロジェクトの職人が手作りしたもの)が贈られると、会場は大いに盛り上がりました。第二部の「京都ブランドフォーラム in 東京」では、「文化遺産としての京都～大切にしたい日本人の心～」をテーマに、京都が世界に誇る有形、無形の文化遺産に関わるパネリストから文化遺産の歴史や継承についてお話しいただき、続く第三部では、2015京都・ミスきものによる婚礼衣装の着物ショーなど、京都和婚のPRを行いました。

また、3月5日に開催しました京都市初の本格的な移住相談会「住むなら^{みやこ}京都! 移住相談会 in 東京」には、募集定員を上回る多くの方々に参加いただきました。参加者からは「京都に住むことは遠い夢だったが、話を聞いて身近に感じた。」「移住を具体的に考えるきっかけになった。真剣に検討してみる。」などの感想をいただき、『住む京都』への関心の高さがうかがえました。

今後も「京あるき in 東京」を通じて京都の魅力を様々な角度から発信し、首都圏をはじめ全国から京都創生を応援いただけるよう取り組んでまいりますので、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。



オープニングイベント 第一部



オープニングイベント 第二部
京都ブランドフォーラム in 東京



オープニングイベント 第三部
いつか私も…京都・和婚スペシャル



住むなら^{みやこ}京都! 移住相談会 in 東京

奥深い京都の魅力を東京で発信！ 京都創生連続講座 in 東京を開催

京都創生推進フォーラムと京都市では、「京あるき in 東京 2016」の開催期間中に、「国家戦略としての京都創生」の取組をより多くの皆様に理解・応援していただけるよう、「京都創生連続講座 in 東京」を開催しました。

当日は、第1・2部を通して、のべ600名以上の方にご来場いただくなど、会場は盛況となりました。首都圏の皆さんとともに京都の未来について考える有意義な機会となりました。

開催日 平成28年2月17日(水)

会場 野村コンファレンスプラザ日本橋

▲ 第1部 京町家東京シンポジウム「あなたと生きる京町家」 ▲▲▲▲▲

前半は、杉野善彦氏（㈱井筒八ッ橋本舗 代表取締役社長）から、京都の歴史や文化、町並みへの感謝や、「井筒八ッ橋」の販売を通じた京町家の保全・再生への取組について、お話しいただきました。

後半は「京町家の魅力と継承」をテーマに、細尾真生氏（㈱細尾 代表取締役社長）、若村亮氏（㈱らくたび 代表取締役）、山中琢人氏（㈱フージャースコーポレーション 京都支店 支店長）をパネリストにお迎えし、大場修氏（京都府立大学大学院 教授）のコーディネートによりパネルディスカッションを行いました。京町家は約1000年に亘り基本形が引き継がれていて世界遺産的な価値があることや、年中行事の体験を通じて日本の精神文化を学ぶこと、世界各国のアーティストやデザイナー等が京町家で引き継がれる日本の文化、匠の精神性や技に高い関心を示していること、さらには、企業の社会貢献活動や情報発信の拠点となっていることが紹介され、京町家を活用する意味や可能性、日本における京都の役割について改めて考える機会となりました。



シンポジウムの様子

▲ 第2部 京都創生シンポジウム「文化首都・京都の魅力」 ▲▲▲▲▲



当日は、京都国立博物館及び文化財保護基金のキャラクター「トラりん」も登場！

第2部では、パネリストに佐々木丞平氏（京都国立博物館 館長）、真野響子氏（女優）、藪内佐斗司氏（東京藝術大学大学院 教授）、コーディネーターに宗田好史氏（京都府立大学大学院 教授）にご出演いただき、文化庁の京都移転を見据え、「文化首都・京都の魅力」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

ディスカッションでは、「文化都市を考えたときに、そこの人々のモラルや倫理観が肝心。環境問題や都市計画など、まちの未来をしっかりと考えることが、いい文化の醸成につながる。」（佐々木氏）、「京都は観光都市として、観光客の受入環境の整備や、マナー問題への対応、提供するサービスの質の向上について、法整備も視野に入れて考えるべき。」（真野氏）、「日本は戦後、多くのものを忘れてしまったが、今も伝統文化と歴史が息づく京都を訪れる人々から『自分のまちもこうであってほしい』と共感されるようなまちづくりをしてほしい。」（藪内氏）とパネリストそれぞれの立場から、お話しいただきました。

最後に、「京都から日本の創生を始めることは京都の使命でもあり、文化庁が京都に移転することによって、新しい日本の文化政策が開かれるのではないか。」（宗田氏）と締めくくっていただきました。（写真提供：京都新聞社）

イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

京都創生推進フォーラムのホームページでも、当会員が実施する催しを紹介しています。

(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

事業名	概要	開催期間	会場(住所)	料金	申込	主催者等
仁和寺霊宝館 春季名宝展	国宝阿弥陀三尊像をはじめ、仁和寺に伝わる宝物を多数公開します。	4/1(金)～ 5/22(日) 9:00～17:00	仁和寺霊宝館 (京都市右京区御室大内33)	500円 (大人1名)	不要	総本山 仁和寺 (075-461-1155)
京都の歴史と地名 謎解き散歩	思いがけない京都の伝説の謎が浮かんで、伝説の興味は尽きません。	4/4(月)、5/9(月)、 6/6(月)、7/4(月) 10:00～12:00	京都勤労者学園 (京都市中京区壬生仙念町30-2 京都労働者総合会館3階)	6,750円	要	京都勤労者学園 (075-801-5925)
京都定期観光バス 京都・西の観光 ～食文化～ たけのこ三昧	筍亭の筍御膳や筍掘り体験(2kgまで持ち帰り可)などが楽しめます。	4/15(金) 9:15～15:35	京都定期観光バス 京都駅烏丸口のりば	大人 11,000円 子供 8,200円	要	京阪バス(株) ※7:40～20:00 (075-672-2100)
京都定期観光バス 京都市動物園特別 案内と十石舟・平 岡八幡宮	岡崎十石舟めぐりや京都市動物園のバックヤードを特別にご案内。	4/15(金)～ 4/24(日)の 金・土・休日 9:25～16:30	京都定期観光バス 京都駅烏丸口のりば	大人 11,500円 子供 6,510円	要	京阪バス(株) ※7:40～20:00 (075-672-2100)
伏見稲荷大社 稲荷祭(いなりさい)	稲荷大神が氏子区域を巡幸して御旅所におとどまりになります。	4/17(日)～ 5/3(火)	伏見稲荷大社(伏見区深草藪之内町)及び 伏見稲荷大社御旅所(南区池ノ内町)	無料	不要	伏見稲荷大社 (075-641-7331)
語り継ぎたい その人の生涯	志をもち各分野で意義ある生涯を送った人々を語り合います。	4/22(金)、5/27 (金)、6/24(金)、 7/22(金) 10:00～11:30	京都勤労者学園 (京都市中京区壬生仙念町30-2 京都労働者総合会館3階)	6,750円	要	京都勤労者学園 (075-801-5925)
琴綾会(きんりょうかい) 箏演奏会	古曲から新曲まで箏・尺八・三味線の楽しい演奏が聴けます。	5/8(日) 13:00～ 16:00頃まで	池坊学園こころホール (京都市下京区四条室町鶏鉾町)	無料	不要	琴綾会 (075-801-4652)
採灯大護摩と 山伏問答	役行者(えんのぎょうじゃ)命日を記念して、山伏百人による火の祭典と勸進帳の山伏問答	6/7(火) 15:00～16:00	聖護院門跡 境内 (京都市左京区聖護院中町15)	無料	不要	聖護院門跡 (075-771-1880)

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。

○内容は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」

発行日 平成28年3月31日

発行 京都創生推進フォーラム(事務局:公財)京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121